

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	特定非営利活動法人ままとんきっず
-----	------------------

取組の名称	地域と連携した乳幼児の虐待予防のための居場所作りと相談機能強化 7
実施場所	ままとんきっず事務所（川崎市多摩区布田 24-26） グループリビングおでんせ中の島（川崎市多摩区布田 24-25） みらぼ（川崎市多摩区馬場 1-18-17 はぐるま共同作業所）
対象地域	主に川崎市多摩区
対象地域の特色・課題	<p>■特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩区ではマンションの増加と共に核家族化が進み、親が身近な人から子育てを学ぶ機会が減少し、地域とのつながりの希薄から親子で孤立化する傾向にあります。 地方出身の夫婦は実家のサポートを得ることが難しく、周囲に相談できる人がいない母親の場合は子育ての悩みを自分一人で抱えることになり育児不安やストレスに繋がっています。 ・2017年の多摩区の調査では子育て世代の約27%が孤立感を感じており、父親の子育てへの参加度が低くなるにつれ孤立感を感じる割合が高いことが分かりました。 虐待していると思うことがある人は約15%にのぼり、また約50%の母親が自分の時間を持ちリフレッシュすることを望んでいるという結果が出ています。 <p>■課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育ての悩みを一人で抱えていると知らず知らずの内にストレスが溜り、その矛先が子どもへと向かい虐待に繋が

	<p>る可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年は家事や育児に関わる父親も増えてきていますが、仕事で忙しかったり実際に何をしたらいいのかわからない父親もまだまだ多く、パートナーとの関係に悩む母親も多いです。 ・子どもを0歳・1歳で保育園に入れて職場復帰する母親が増えていて、幼稚園への入園を検討している親子は孤立感を感じています。 ・コロナ禍での子育てで不安やストレスを抱える母親が増えていますが、身近で相談できる場であったはずの地域子育て支援センターは感染症対策で人数制限となっているため利用がしにくい状況です。
<p>取組の趣旨・目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■趣旨 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期の子育ての悩みや不安・育児ストレスの軽減に繋がるような講座に参加することで、悩んだり心配したりしているのは「自分だけではない、みんな一緒」なんだと知り、お互いの経験を共有することでマスコミやネット情報に惑わされることなく親も子どもと一緒に成長していきます。 ■目的 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の子育て家庭のニーズに柔軟に対応することで、新米ママサロンから始まる「切れ目のない子育て支援」が児童虐待の予防や子育て不安の解消に繋がります。 ・地域の関係各所や団体と連携して、乳幼児親子が安心して地域へ踏み出していける地域作りに寄与します。

実施内容・実施スケジュール

1 通年事業 親子の居場所（年間 210 日）

時期 4月～3月（月～金）

場所 ままとんきつず事務所ほか

対象 主に乳幼児親子、子育て支援に関心のある方

内容 ままとんサロン 81日/ 253名
一時預かり 19日/ 21名
グループ保育 88日/ 376名
産前・産後サポート 121日/ 147名

2 今年度特に取り組む事業

① ケアを必要とする乳幼児と親のためのスペシャル講座
（別室保育）

時期 11月～3月 合計5回

場所 グループリビングおでんせ中の島（講座）
ままとん事務所（保育）

対象 主に乳幼児親子、子育て支援に関心のある方

内容 専門家講師による講義と相談（子どもは別室保育）

9/12 ワーキングママのお話 1組

11/14 初めてのアンガーマネジメント 4組

12/12 子どもの発達を理解する 3組

2/13 パートナーとの関係 1組

3/13 初めてのアンガーマネジメント 4組

②地域交流「中野島こども応援まつり」

時期 12/3

場所 みらぼ（はぐるま共同作業所）

対象 乳幼児親子、地域の方々

内容 子どもの権利についての掲示とお話

- ・パントマイム
- ・ボーリング、ボッチャ
- ・魚釣りゲーム、ストラックアウトゲーム
- ・牛乳パック工作
- ・クリスマスカード作り

午前 25組 33名

午後 8組 22名

	<p>③おしゃべりホットライン</p> <p>時期 4月1日～3月31日(月～金)</p> <p>場所 ままとんきつず事務所</p> <p>対象 子育て中の方</p> <p>内容 子育てについて電話でおしゃべり 3名 のべ10件</p>		
参加者の年代	0歳からシニア	定員 (1回あたり)	講座 親子5組 サロン 親子4組 イベント 親子25組
実施頻度	講座 月1回 イベント 年1回 サロン 水・金曜日	活動日数 (年間)	210日
スタッフ体制	<p>・「みなみすげ・にしきがおか・なかのしま・ますがた」4館の川崎市地域子育て支援センターを12年間運営しており、地域の親子さんに寄り添っているスタッフが25名在籍しています。ほぼ全員が子育て支援員の研修を受けています。</p> <p>・子育て経験豊かなスタッフが講座MC・保育・サロンに入り、専門家からだけでなく先輩ママの生の声を気軽に聞ける環境を作りました。</p> <p>・保育については保育士・幼稚園教諭・子育て支援員の有資格者を保育される子どもの人数とほぼ同数そろえて、きめ細やかな保育をしました。</p>		

<p>連携する団体・ 連携の手法</p>	<p>■連携する団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動している団体やグループ・主任児童委員さんたちと「中野島子ども・子育て応援ネットワーク」を立ち上げ、今後も連携先を増やしていきながら地域に根ざした活動をしていきます。 <p>団体名：中野島ファミリーカフェ おしゃべりサロンあゆみ 多摩区でプレーパークをやっちゃおう会 わがまま SUN バンド ひよっこりガーデン 川崎さくら児童家庭支援センター おやじの会 中野島学童ホール フードバンク川崎 結ケアセンター 主任児童委員 はぐるま共同作業所 他</p> <p>■連携の手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メーリングリストや交流会でお互いの活動・地域の子育て環境や子育て家庭のニーズについて情報を共有しました。 ・コロナ感染対策をしながら、多世代が参加できる地域交流のイベント「中野島こども応援まつり」を実施しました。
<p>取組実施により 見込まれた効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定員申込制のサロンには必ずスタッフがいたので、コロナ禍での子育てで不安やストレスを抱える母親が安心して利用できました。 ・グループ保育・一時保育は母子分離により共依存に陥るのを防ぎ、家事や育児に悩む親子のためのサポート等は母親の心身の負担軽減に繋がりました。

・スペシャル講座は専門家の話を聞いて相談もできました。子育ての不安やストレスを抱える母親がお互いの経験を共有することで「自分だけではない、みんな一緒」なんだと知り、親も子どもと一緒に成長する機会となりました。

・コロナ感染対策を徹底しながら、多世代が参加できる地域交流のイベント「中野島こども応援まつり」を実施しました。コロナ禍で地域のイベントが少ない状況の中、午前・午後合計 33 組・55 名の親子が一緒に楽しめる機会となりました。

準備期間中は地域で活動されている団体と情報交換や打ち合わせで連携がより深まりました。

・「おしゃべりホットライン」はサロンや地域子育て支援センター等に出かけにくい保護者が自宅にしながら電話で子育てについておしゃべりができました。悩みや不安の軽減と孤独解消に繋がることが期待できます。